

衝撃試験装置(単軸の振動試験も可能)仕様および取付方法

香川県産業技術センター

動電式衝撃試験装置 型名 : A11／EM1HAG IMV(株) 製

1. 主な用途

単軸加振

衝撃試験 または 振動試験

2. 仕様

1. 試験仕様 (JIS C 60068 準拠 半正弦波衝撃試験) の例

No.	衝撃波形	加速度 [m/s ²]	パルス幅 [ms]
1	・半正弦波 ・のこぎり波 ・台形波 (など)	50	30
2		150	11
3		300	18
4		300	11
5		300	6
6		500	11
7		500	3
8		1000	11
9		1000	6

*供試体の取付方法 : ①立方体治具(200 [mm]角, 9.5 [kg]), ②500×500 [mm]テーブル(11 [kg]), ③治具なし(振動台に直接取り付け)の何れかから選択します.

2. 加振機仕様

振動台の大きさ	φ210 mm	
加 振 力	22 [kN]peak	ショック波
	16.5 [kN]peak	高速度ショック波
	11 [kN]	正弦波
	11 [kN]rms	ランダム波
振動数範囲	5~4000 [Hz]	
最大変位	51 [mm]p-p	
最大速度	2.5 [m/s]	
最大加速度	1000 [m/s ²]	
最大搭載重量	200 [kg]	
可動部質量	11 [kg]	
供試品取付	供試品取付ボルト図 参照	
冷却方式	強制空冷	

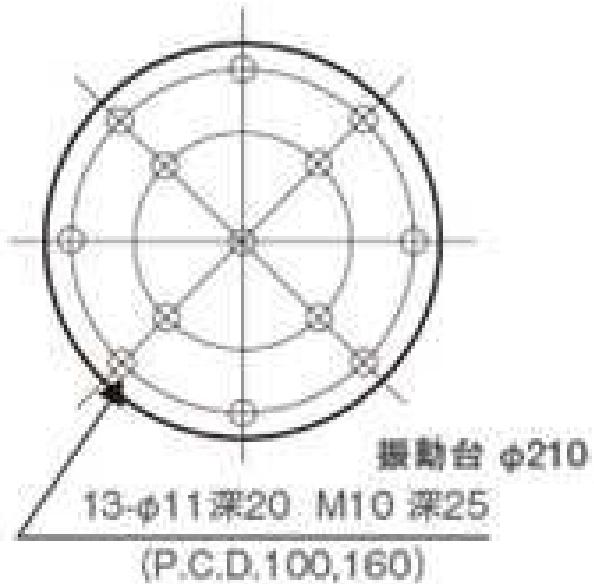
※試験を実施する場合の最大加振加速度 A[G]は、供試体の重量、大きさ等により、制約を受ける場合があります。

※試験条件についてご不明な点がある場合は、本 pdf ファイル末尾の衝撃試験、振動試験仕様書に必要事項をご記入の上、担当者まで、ご相談ください。

3. 供試体取付穴等

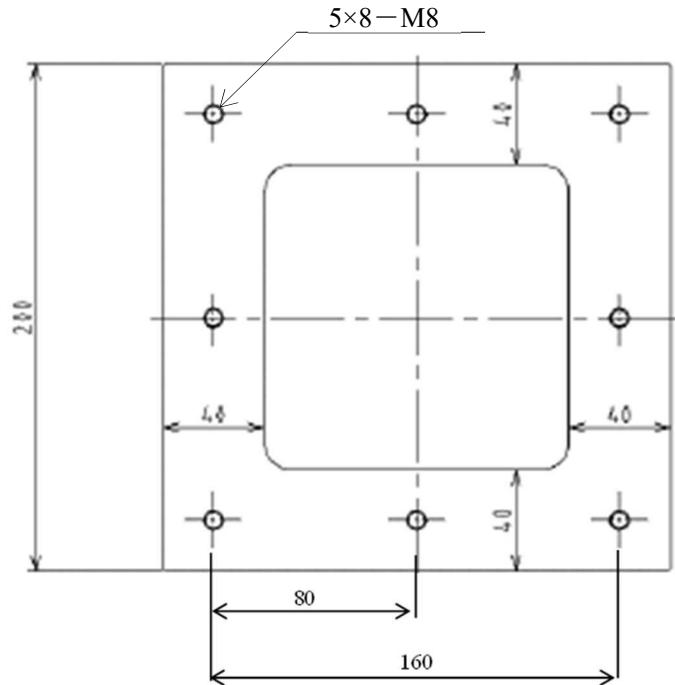
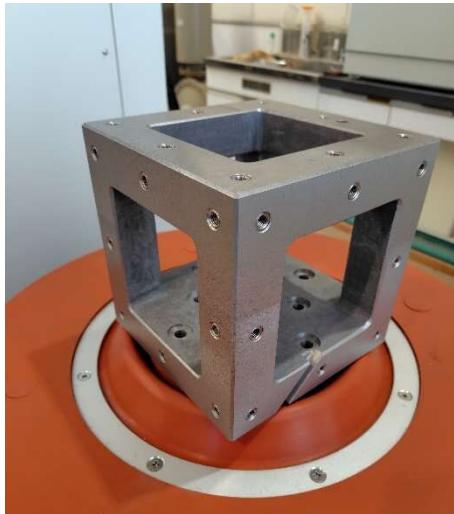
○振動台寸法 : $\phi 210$ [mm]

下図のテーブルにある 13 ヶ所のボルト穴を使用して取り付けます。

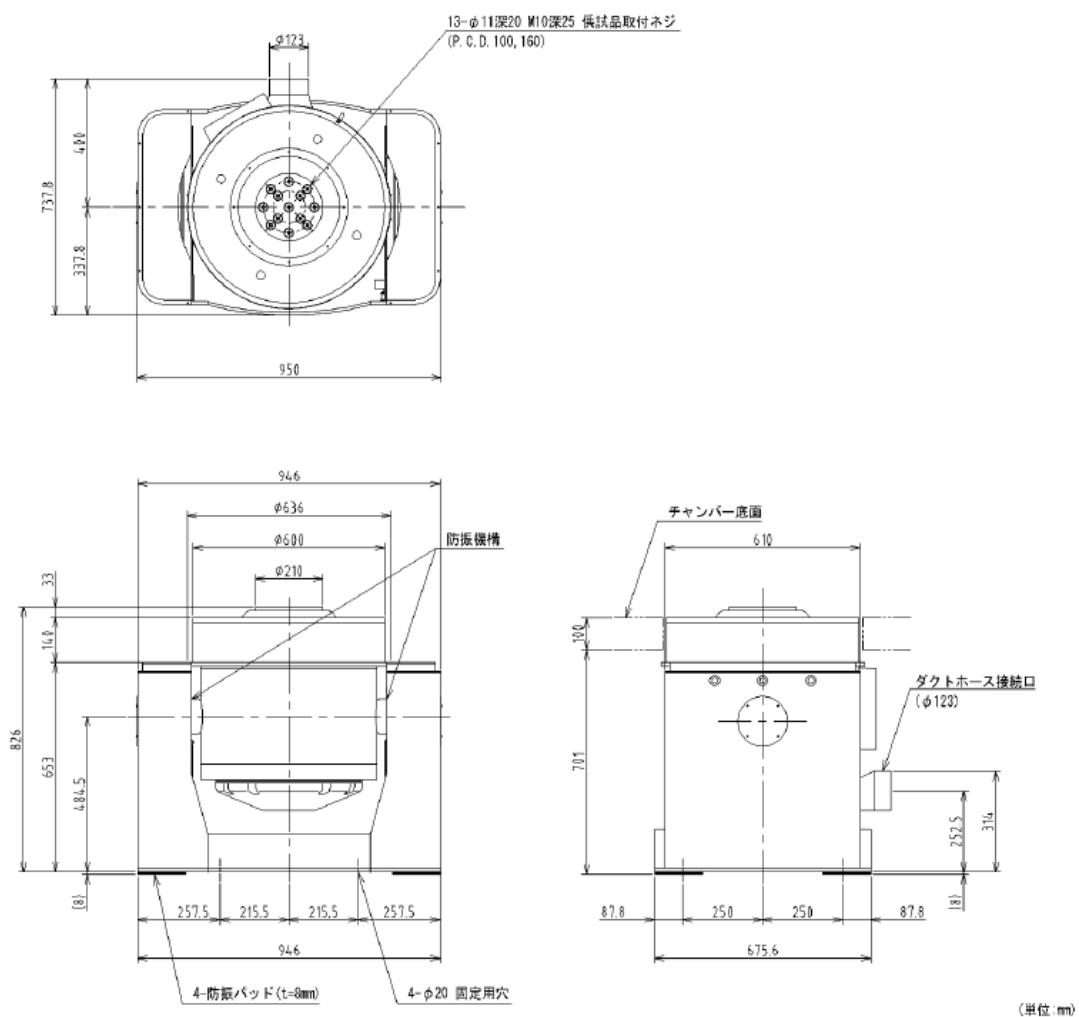


○立方体治具 : 200 [mm]角

振動台上に取り付ける立方体加振治具(9.5[kg], 上・側面の 5 面取付可)は、下図のとおりです。



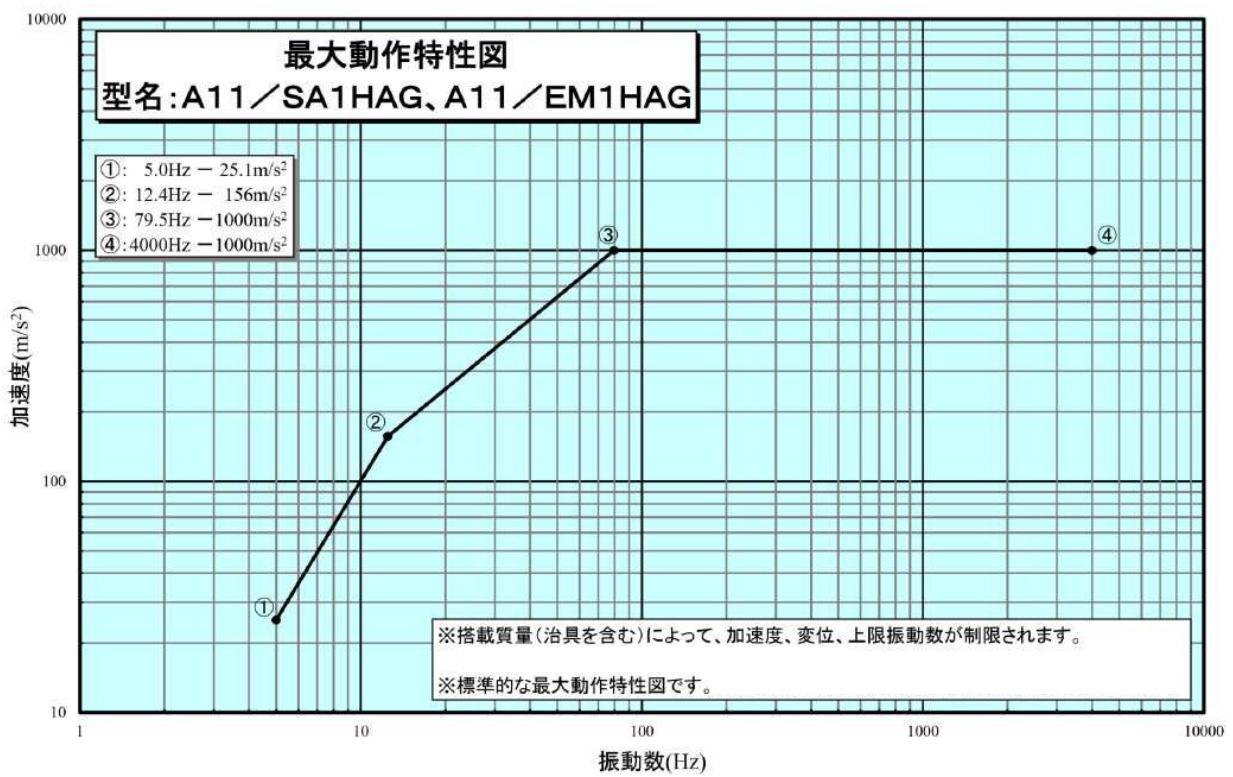
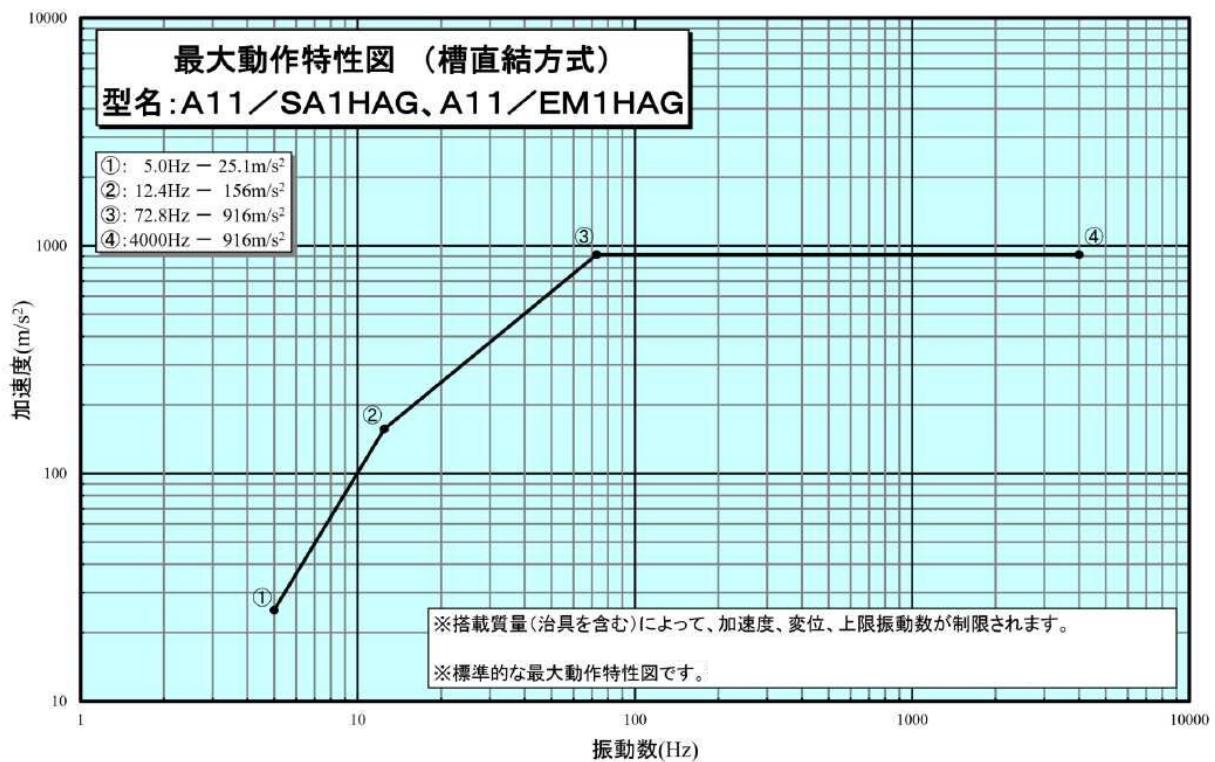
4. 各部寸法



5. 加振機外観写真



6. 加振振動数特性



衝撃試験の仕様

日付 / /

【企業名】	
担当者	E-mail:
所在地	〒
電話番号	FAX:

【試験希望日】	年 月 日 時～
----------------	----------------

【試験体名称】	
重量	
形状・寸法	(縦×横×高さ mm)
治具の重量	
(試験体(&治具)の簡単なスケッチ or ポンチ絵を描いてください)	

【試験仕様】	
衝撃条件	m/s ² (G), ms, 回
衝撃波形	
試験規格	

【その他特記事項】	
------------------	--

振動試験の仕様

日付 / /

【企業名】	
担当者	E-mail:
所在地	〒
連絡先	TEL: FAX:

【試験希望日】	年 月 日 時～
---------	----------

【試験体名称】	
重量	
寸 法	(縦 × 横 × 高さ mm)
治具の重量	
(試験体及び治具の簡単なポンチ絵 または 写真) *図面を添付頂いても結構です.	

【試験仕様】		*の箇所はいずれか一方を選択して下さい
周波数範囲	Hz から	Hz まで
正弦波 加振	(掃引種別)	直線掃引 または 対数掃引 *
	(掃引速度)	分／片側掃引 オクターブ／分
	(加速度)	m/s ² (G) (片振幅または全振幅※)
	(変 位)	mm (片振幅または全振幅※)
ランダム波 加振	OPSD(パワースペクトル密度)分布をご指定下さい	
	Hz	(m/s ²) ² /Hz または G ² /Hz*
	Hz	(m/s ²) ² /Hz または G ² /Hz*
	Hz	(m/s ²) ² /Hz または G ² /Hz*
	Hz	(m/s ²) ² /Hz または G ² /Hz*
試験時間	分	
【その他特記事項】 (適用する試験規格番号, その他連絡事項等がある場合)		